

文 書 番 号		熱 観 観 第 号		目次番号	
決裁区分					区分
収 受	平 成 30 年 2 月 19 日	保存年限	1 5 10 永	至	
起 案	平 成 30 年 2 月 26 日	類 目	.	公印承認欄	
決 裁	平 成 30 年 2 月 28 日			急 <input type="checkbox"/>	
施 行	平 成 年 月 日	付 記	.	秘 <input type="checkbox"/>	
完 結	平 成 年 月 日			重 <input type="checkbox"/>	
				要 <input type="checkbox"/>	
		観 光 建 設 部		先方の文書	
		観 光 経 済 課		. . 付	
				第 号	
				起 案 者	
主管					
合 議					
あて先				発信 <input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 会計管理 <input type="checkbox"/> 消防長 <input type="checkbox"/> 部長 <input type="checkbox"/> 課長 者名 <input type="checkbox"/> ( )	
標 題 民有林の伐採及び伐採後の造林届出書の受理について					
[ 照会 回答 通知 依頼 報告 復命 実施 申請 制定 指令 決定 ( ) ]					
このことについて、平成30年2月19日付け伐採及び伐採後の造林の届出書が提出されたので					
別紙のとおり受理通知を発送してもよいか伺います。					
記					
1. 森林所在地 熱海市 伊豆山字宝司ヶ嶽					

2. 伐採期間	平成30年3月21日～平成30年3月20日
3. 伐採面積	0.1087ha
4. 伐採後の造林計画	なし
5. その他	同地番にて太陽光発電の申請を行っておりそちらの面積が0.8727ha 合計0.9814haのため、今後この地域にて行為を行う場合、林地開発許可の 取得が必要になるため、注意すること。

(第)

別紙様式第1号

熱観観第 196 号  
平成30年 月 日

[Redacted]

熱海市長 齊藤 栄

## 伐採及び伐採後の造林の届出書受理通知

平成30年2月19日付けにて提出のあった伐採及び伐採後の造林の届出書を受理し、下記の内容を確認したので通知する。

### 記

提出された伐採及び伐採後の造林の届出の概要

森林の所在場所及び伐採面積：熱海市 伊豆山字宝司ヶ嶽 [Redacted] 番地

伐採内容 : 伐採種別 (択伐) 伐採率 (7%)

伐採樹種 : ソノタコウヨウジュ・ゲンヤ

伐採齢 : 62

伐採期間 : 平成30年3月21日～平成31年3月20日

別紙様式第1号

熱 観 観 第 3 9 6 号  
平成30年2月28日

様

熱海市長 齊藤



### 伐採及び伐採後の造林の届出書受理通知

平成30年2月19日付けにて提出のあった伐採及び伐採後の造林の届出書を受理し、下記の内容を確認したので通知する。

記

提出された伐採及び伐採後の造林の届出の概要

森林の所在場所及び伐採面積：熱海市 伊豆山字宝司ヶ嶽 番地

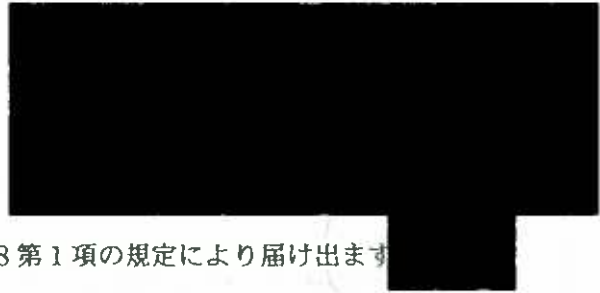
伐採内容 ： 伐採種別（択伐） 伐採率（7%）  
伐採樹種 ： ソノタクウヨウジュ・ゲンヤ  
伐採齢 ： 62  
伐採期間 ： 平成30年3月21日～平成31年3月20日

伐採及び伐採後の造林の届出書

平成30年2月19日

熱海市長 齊藤 栄 様

届出人住所  
氏名



次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の8第1項の規定により届け出ます

1 森林の所在場所

熱海市	市	伊豆山	町	大字	宝司ヶ嶽	字	地番
	郡		村				

2 伐採の計画

伐採面積	0.1087 ha		
伐採方法	主伐 (皆伐・択伐) ・ 間伐	伐採率	100 %
伐採樹種	ソノタノコウヨウジュ ・ ゲンヤ		
伐採齢	62 ~ 34		
伐採の期間	平成30年3月21日 ~ 平成31年3月20日		

3 伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

造林面積 (A+B+C+D)	ha
人工造林による面積 (A+B)	ha
植栽による面積 (A)	ha
人工播種による面積 (B)	ha
天然更新による面積 (C+D)	ha
ぼう芽更新による面積 (C)	ha
天然更新補助作業の有無	地表処理 ・ 刈出し ・ 植込み ・ その他 ( ) ・ なし
天然下種更新による面積 (D)	ha
天然更新補助作業の有無	地表処理 ・ 刈出し ・ 植込み ・ その他 ( ) ・ なし

(2) 造林の方法別の造林の計画

	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の植栽本数
人工造林 (植栽・人工播種)			ha	本
天然更新 (ぼう芽更新・天然下種更新)			ha	
5年後において適確な更新がなされない場合			ha	



(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

排水施設

4 備考

注意事項

- 1 伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 2 伐採をする者と伐採後の造林をする者が異なり、これらの者が共同して提出する場合にあつては、当該伐採をする者と当該伐採後の造林をする者が連名で提出すること。
- 3 氏名を自署する場合には、押印を省略することができる。
- 4 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 5 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 6 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びびくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 7 伐採方法欄には、皆伐、択伐又は間伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 8 伐採年齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(○~○)」のように記載すること。
- 9 伐採の期間が1年を超える場合においては、2の伐採の計画を年次別に記載すること。
- 10 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 11 植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。
- 12 天然更新補助作業の有無欄には、当該作業を行う場合には、地表処理、刈出し、植込みなどの作業の種類を記載すること。
- 13 造林樹種欄及び樹種別の造林面積欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 14 樹種別の植栽本数欄には、植栽する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 15 5年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。
- 16 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。

(別紙)

市町名： 熱海市

森林の所在場所						伐採面積 (ha)	伐採材積 (m <sup>3</sup> ) ※1	伐採の 方法	伐採率 (%)	伐採樹種	伐採 年齢	伐採 の 期間	伐採後 の造林 の方法	天然更新の場合		伐採後 の造林 の期間 ※2	伐採後 の造林樹種 ※2	樹種別の 造林面積 (ha) ※2	樹種別の 植栽本数 (本) ※2	伐採跡地 の用途 ※3	備考		
林班	準林班	小班	枝番	大字	字									地番	補助 作業							その他 詳細	
041	は	006	000	伊豆山	宝司ヶ嶽	0.0482	0			ケヤキ	0	1130年3月21日									排水施設		
41	ろ	7		伊豆山	宝司ヶ嶽	0.0605	4.84	皆伐	100	ソノナ コクヨウジユ	62	1131年3月20日										排水施設	
計						0.00	0.00											0.00	0				

※1 伐採材積は森林簿に掲載された材積を参考に記載しても構いません。

(森林簿の情報は、インターネット上の「静岡県森林情報共有システム」で確認できます)

※2 造林の方法が天然更新の場合は、5年後における的確な更新がなされない場合の造林計画を記載すること。

※3 伐採後5年以内において、森林以外の用途に供される場合に記載すること。

造林の方法	面積 (ha)		人工造林		天然更新	
			造林面積	植栽本数	造林面積	植栽本数
人工(植栽) A	0.00	スギ	0.00	0	0.00	0
人工(播種) B	0.00	ヒノキ	0.00	0	0.00	0
計 A+B	0.00	マツ	0.00	0	0.00	0
天然(ぼう芽) C	0.00	カラマツ	0.00	0	0.00	0
天然(下種) D	0.00	クヌギ	0.00	0	0.00	0
計 C+D	0.00		0.00	0	0.00	0

様式

伐採調査書 ( 小規模林地開発 )

届出時・変更時・完了時

\*作成時点により、いずれかを○で囲む

No.

土地所有者	住所	TEL		位置図
	氏名			
開発行為者	住所	TEL		【記載注意】 (1/25,000) 1 本調査は、伐採届出書の「伐採跡地の用途」欄に森林以外の利用目的が記載されている場合について作成する。 (「伐採跡地の用途」が「植栽」であっても、土石の採取等森林が一時的に他の用途に使用される場合は作成する。) ただし、森林法施行細則第10条の規定による林地開発行為の通知(連絡調整)に該当する案件については、作成不要である。
	氏名			
開発行為の目的	太陽光工事に伴う排水施設 )			2 「開発行為の目的」の記載は、下記の分類による。 ・ 工場、事業用地 ・ 土石採取 ・ 住宅地 ・ 道路の新設・改設 ・ レジャー施設 ・ 廃棄物等の処理施設 ・ 農用地 ・ その他
所在場所	熱海市伊豆山字宝司ヶ嶽			
面積	全体面積	5条森林面積	5条森林の形質変更面積	① ( ) 欄には、開発行為の具体的内容を記入する。 (例: 病院、個人住宅、製茶工場、植物園、茶畑、農道等) ② 土石採取等は、跡地利用に係わらず「土石採取」に分類し、( ) 欄に跡地利用を記入する。 ③ 別荘等の有姿分譲(伐採面積が1ha以下)を行う場合は、道路等の造成は「道路の新設改設」に分類し、その後、土地の購入者が住宅を建築するときの伐採は「住宅地」に分類する。
	計画完了	ha 20.5968	ha 3.79	
事業期間	平成30年3月21日 ~ 平成31年3月20日			3 面積は、haを単位として少数第4位まで記載すること。 4 防災施設等の内容については、該当箇所を○で囲む。 5 添付図面: 位置図(1/25,000 本調査に貼付) 伐採届出書の写し 森林計画図(1/5,000・A3又はA4) 土地利用計画平面図(A3又はA4)
防災施設等の設置	計画完了	調整池・沈砂池・擁壁・排水施設・柵工		
緑化計画	計画完了	残置森林・造成森林・造成緑地・法面保護		6 計画時・完了時いずれかを○で囲み、届出内容に変更がある場合は、変更箇所を赤書きで2段書きすること。
他法令許認可の状況	関係法令等	手続状況	備考	
	市町村土地利用			
	都市計画法			
	農振法・農地法			
	土採取条例			
	砂利採取法・採石法			
廃掃法				
その他(風致地区条例)		申請中		
備考				



【現地実施状況の確認】

<裏面>

確認内容	届出時(着手時)	①	②	③	④
開発行為に係る森林面積	0.1087 ha	ha	ha	ha	ha
現地確認・指導年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
伐採調査の内容どおり事業が実施されているか。					
伐採調査の区域と現地造成区域に相違ないか。					
その他(特に記載すべき事項)					

確認内容	⑤	⑥	⑦	⑧	完了時
開発行為に係る森林面積	ha	ha	ha	ha	ha
現地確認・指導年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
伐採調査の内容どおり事業が実施されているか。					
伐採調査の区域と現地造成区域に相違ないか。					
その他(特に記載すべき事項)					

\*事業が完了するまでの間、半年に1度程度を目安に現地調査を実施し、結果を農林事務所へ報告する。

\*他法令の許認可に該当する場合は、その現地調査をもって確認調査に代えることができる。

\*変更があった場合は、事業者へ変更調査の提出を指導する。

\*事業者へ指導等を行った場合は、指導した年月日及びその他の欄へ指導内容を記載する。